

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	5
○ 復興推進活動状況	_____	6	～	8
○ 流通促進活動状況	_____			9

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

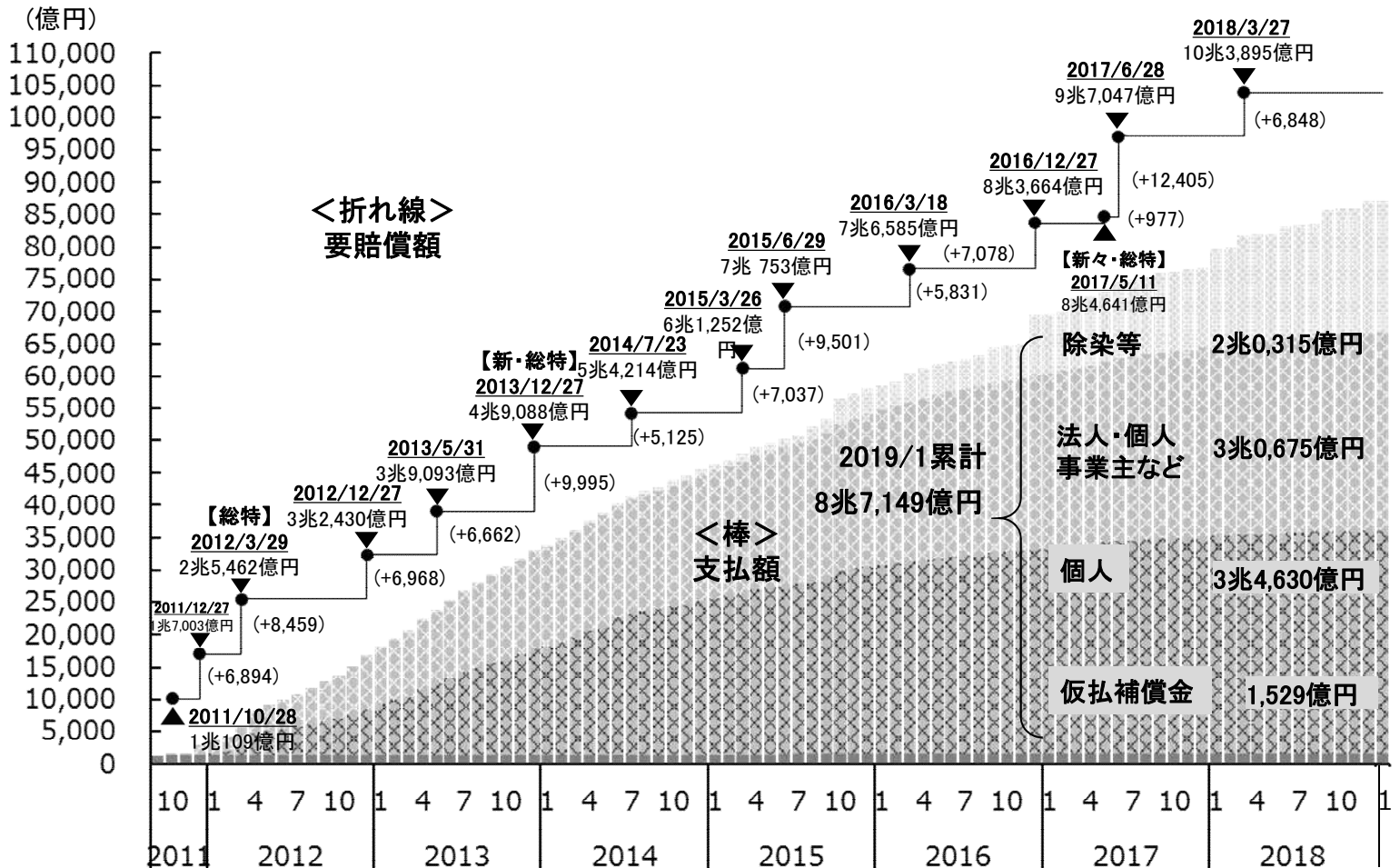
2019年1月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,397,000件	約491,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,268,000件	約422,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,630億円	約5兆991億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約8兆5,621億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約8兆7,149億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/27資金援助額変更申請)	合意いただけの実績 ^{※1} (2019年1月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,598億円	19,794億円
検査費用等	3,352億円	2,707億円
精神的損害	10,967億円	10,818億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,652億円	2,641億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	29,657億円	28,958億円
営業損害	5,258億円	5,167億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,781億円	17,580億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,084億円	2,408億円
間接損害等その他	3,532億円	3,801億円
III. 共通・その他	20,917億円	18,076億円
財物価値の喪失又は減少等	14,756億円	13,808億円
住居確保損害	5,910億円	4,018億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	32,721億円	20,315億円
合計	103,895億円	87,144億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

[B/A 84%]

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について

<ADRの対応状況>

2019年2月8日現在

申立件数		24,461件
解決件数		23,401件
	全部和解件数	18,917件
	取下げ件数	2,537件
	打切り件数	1,945件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,060件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより



※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは24,302件(1月末現在)

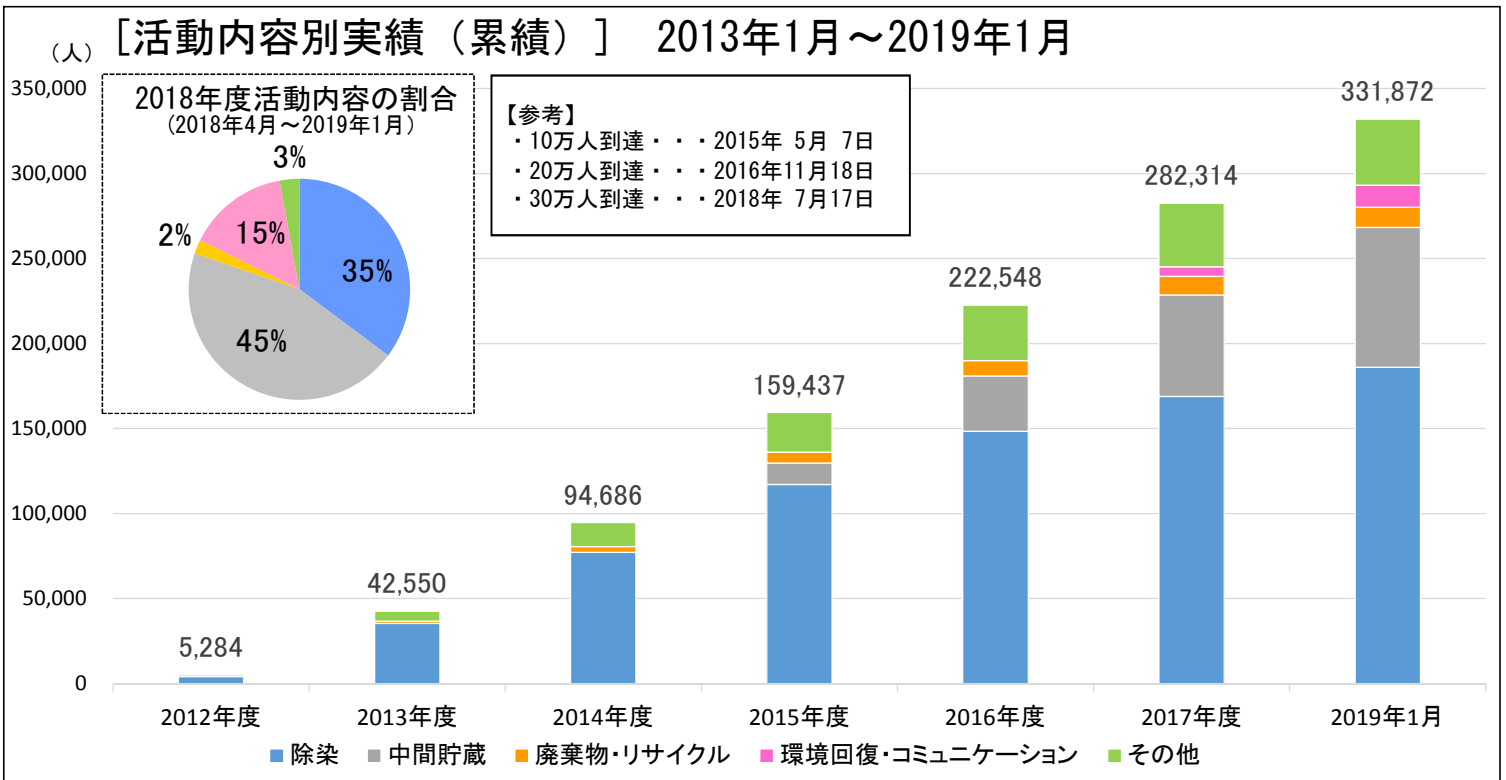
※当社に送達された件数は月平均で約89件(平成30年度)

※現在進行中の件数のうち、82件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,092億円

1月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,426人 (33%)	2,070人 (48%)	86人 (2%)	571人 (13%)	173人 (4%)
1月の活動実績合計				4,326人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				331,872人



至近の主な取り組み



浜通り地方等の主要道路
モニタリングへの対応

浜通り地方等の主要道路モニタリングへの対応

実施時期	2018年10月22日～12月13日（第30巡）
実施場所	浜通り地方等の主要道路
実施人数	社員 延べ48人
実施内容	内閣府原子力被災者生活支援チームからの要請により、国が定めた総合モニタリング計画に基づき、浜通り地方等の主要道路約1,467kmを測定器を搭載した車両で走行モニタリング（空間線量率測定）を実施
計測結果	度数分布のグラフのとおり、 $1.0\mu\text{Sv/h}$ 未満の水色のエリアが増加し、全般的に空間線量率は減少

360度カメラ



車両による走行モニタリング状況

測定器

測定器

PC



走行モニタリング測定機器

<走行モニタリングの結果>

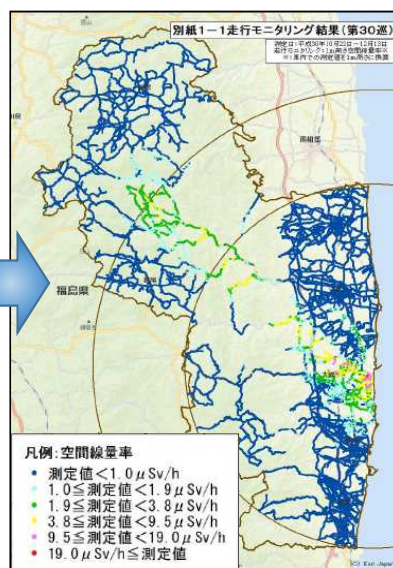
第1巡

(2011.8.3～8.30)

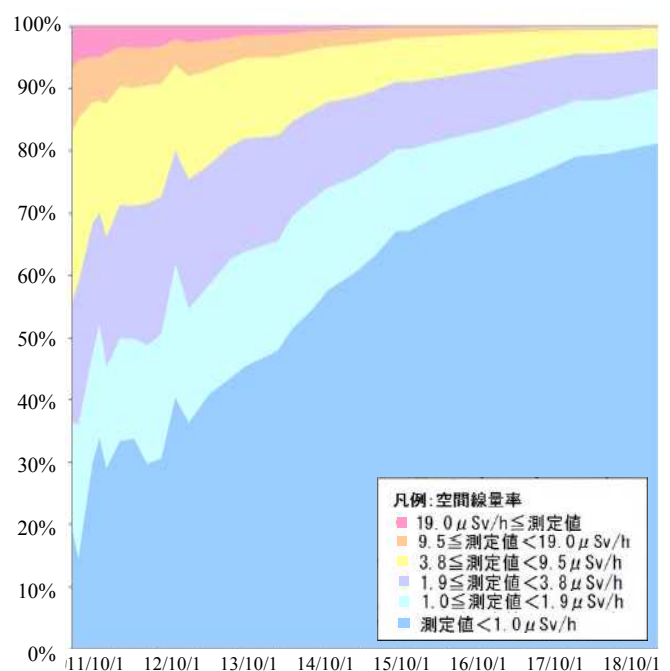


第30巡





(2018.10.22～12.13)

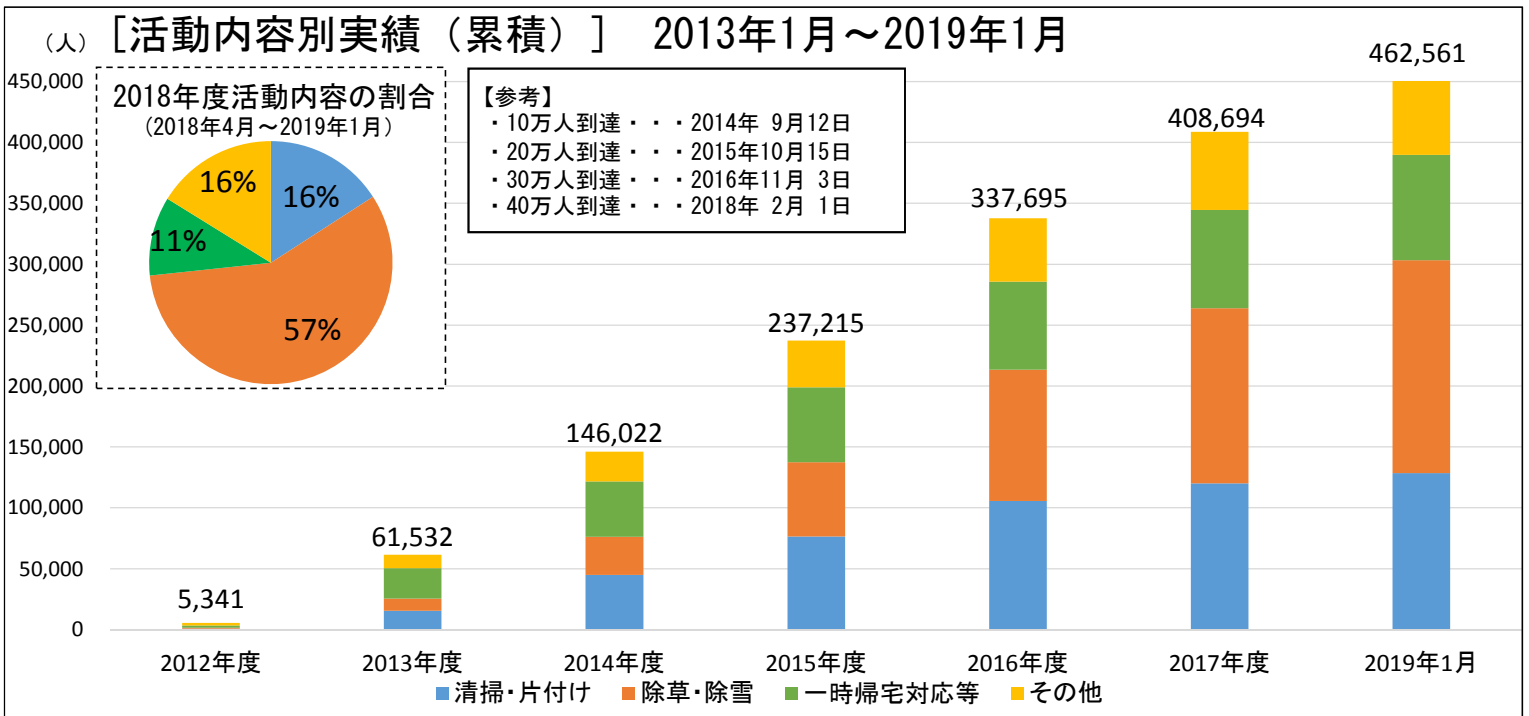


<空間線量率の度数分布の変化>



1月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
507人 (15%)	1,661人 (49%)	519人 (15%)	708人 (21%)
1月の活動実績合計			3,395人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			462,561人



至近の主な取り組み



大熊町会津若松応急仮設住宅の屋根雪下ろしへの協力



川俣町「網の里やまきやスケートリンク」整備・運営への協力

川俣町「絹の里やまきやスケートリンク」整備・運営への協力

実施時期	2018年7月10日～12日、9月3日・7日 除草および片付け 2018年12月12日・14日 スケート靴整備 2019年1月15日～ リンク整備・運営補助	} 2016年1月から毎年実施
実施場所	川俣町（山木屋地区）	
実施人数	社員 延べ104人（除草・片付け：16人、スケート靴整備：2人、リンク整備86人）	
実施内容	川俣スケートクラブ様からの依頼により、川俣町（山木屋地区）で2016年に再開した「絹の里やまきやスケートリンク」において、水撒き、雪かき等のリンク整備に協力 また、地元小学校の体育（スケート）授業の補助に協力	

<活動の様子>



山木屋小学校スケート授業の様子
[2019年2月5日撮影]



山木屋小学校スケート授業の様子
[2019年2月5日撮影]



リンク整備（水撒き）の様子
[2019年1月15日撮影]



リンク整備（雪かき）の様子
[2019年1月22日撮影]

大熊町会津若松応急仮設住宅の屋根雪下ろしへの協力

実施時期	2019年2月5日～7日 計 3日間 2013年3月から毎年実施
実施場所	会津若松市（大熊町会津若松応急仮設住宅）
実施人数	今年度：社員 延べ114人
実施内容	大熊町からの依頼により、仮設住宅屋根の雪下ろしを実施

<活動の様子>



作業前の様子[2019年1月29日撮影]



屋根雪下ろしの様子[2019年2月5日撮影]



屋根雪下ろしの様子[2019年2月5日撮影]



作業後の様子[2019年2月6日撮影]

「発見！ふくしま」キャンペーンの取り組み

【至近のイベント状況】

- 百貨店やスーパーにおいて、福島県産品を継続して購入して下さるファンの獲得に向けて、試食販売会を展開
- 福島県産品を常設販売いただいている各店舗様では、ファンとなっただけの方に、引き続き購入いただけるよう試食販売会を再度実施

開催場所	開催日	開催内容
日吉東急アベニュー様	2019年1月15日・16日	「会津コシヒカリ」の試食販売会
東急ストア様 (藤が丘店、戸塚店、河辺とうきゅう店、新丸子店、中央林間店、 金町店、フレルさぎ沼店、大森店、フレル・ウィズ自由が丘店、 プレッセプレミアム東京ミッドタウン店)	2019年1月28日～2月10日 の期間中 各店舗2日間実施	「天のつぶ」、「福島県産コシヒカリ」 の試食販売会
千駄木腰塚様 横濱精肉店	2019年2月8日～10日	福島牛の試食販売会



日吉東急アベニュー様での販売会



東急ストア様 中央林間店での販売会



千駄木腰塚様 横濱精肉店での販売会

福島県産品の流通拡大に向けた取り組み（観光・ビジネス客層向け）

【取り組み①】 <ふくしまのお酒の常設販売（新規開拓）>

- 2018年4月～6月にかけて、東京国際空港ターミナル株式会社（TIAT）様、福島県酒造協同組合の蔵元様のご協力を得て、羽田空港国際線旅客ターミナル免税店で「ふくしまのお酒」に限定した「福の酒」特別試飲キャンペーンを実施（2018年4月お知らせ済み）
- 同キャンペーンの反響・成果を踏まえ、TIAT様は同ターミナル内の免税店での常設販売を決定。2019年1月より「ふくしまのお酒」10銘柄が初めてとなる常設棚での販売開始



羽田空港免税店での「ふくしまのお酒」特別試飲キャンペーン（2018年4～6月）



中央：福島県酒造協同組合理事長
末廣酒造(株) 新城 猪之吉 社長
右：末廣酒造(株) 八木 周作 様
左：ミス日本酒福島代表・準グランプリ
堀井 雅世 様
※当時の肩書きを記載しています



常設化となった羽田空港免税店（2019年1月～）

【取り組み②】 <福島の魅力の情報発信>

- 福島の魅力をお伝えする情報を航空会社様の機内誌に掲載。
記事内容は、当社ホームページ特設サイトでも公開
- ・全日本空輸様様の「翼の王国1月号」では、老舗料理店様をお訪ねし、福島牛の魅力を紹介
- ・全日本空輸様様の「翼の王国2月号」と日本航空様様の「SKYWARD2月号」では、5つ星お米マイスター（澁谷梨絵様※）より、福島のお米の魅力を紹介

※5つ星お米マイスター・雑穀エキスパートなどを取得。株式会社シブヤ代表取締役



■機内誌：JAL「SKYWARD 2月号」